

# 県立山田病院の病床利用率

## 19年度以降70%下回る



佐藤照彦議員

**質問** 県立山田病院の対策について問う。

① 県は、病床利用率がおおむね過去3年連続で70%未満の空き病床の多い病院に病床規模の見直しを促した。山田病院の病床利用率と今後の取り組みは。また、町はどう対応する考えか。

② 宮古医師会は、県立宮古病院の日曜日の救急外来に応援医師を派遣することを決めた。山田病院にも協力を得られるよう努力すべきではないか。

**沼崎町長**  
① 山田病院の病床利用率は、平成17年度は80・5%、

18年度は70・8%、19年度は69・2%、20年度も70%を下回る状況にある。

山田病院では、岩手医大、宮古病院から応援を得て、常勤医師3名体制で病床利用率向上を目指しているが、基本的には、医師確保が最大の課題であると考える。

町としては、地元出身の医師に関する情報を収集し、山田病院に情報提供するなど、医師確保に取り組む。

② 宮古医師会には、山田病院にも医師派遣できないか協議していきたいと考えている。

### 教育行政

## 「新教育長」の教育理念

### 何事も「一を大切に」すること

**質問** 教育行政を問う。

① 教育長の教育理念は。

② 教育長就任に当たった所の信は。

③ 教育長の目指す学校像、教師像、生徒像は。

④ 「一を大切に」ということ

### 議員6人が一般質問



教育理念・所信などを述べる  
岩船敏行教育長

③ 学校像は、子どもが明るく元気に生活や学習ができ、教職員がやる気を持ち、地域とともに歩む学校を目指したい。教師像は、子どもと遊び、心のひだに気配りでき、常に学びつつある教師などである。生徒像は、個性とともに社会性を身につけ、自分なりの色で輝ける子どもである。

とである。子ども、父母や地域の方々がいて学校や教育施設があり、そのおかげで自分たちの仕事が存在するのだと思う。

② 学校長を通して、学校・家庭・地域社会が連携し、子どもたちの「早寝・早